

「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」

2017年度神戸大学全学キャリア科目（総合教養科目・副：総合科目Ⅱ）第3Q木曜5限
教室 鶴甲第1キャンパス K202

（申請コード 後期 3G112（副：3G884））

【授業のテーマと目標】

テーマ「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」（社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義）

若い皆さんは、世の中の職業や仕事について具体的に知っている人も殆どいませんし、他方、自分自身がいかにか大きな可能性にみちているかを理解している人もごく稀です。しかし、皆さんのもつその測り知れない可能性を生かすためには、将来に拓がる卒業後の多様な進路について思い巡らし、職業や仕事の具体的な姿とその仕事に就いている人々の経験と思いを知ること大切です。

この授業では、様々な職業に就いている神戸大学の卒業生の方々から仕事の現場と遣り甲斐、さらに仕事への夢や志などを語っていただきます。皆さんはふだんの大学の授業では聞くことのできない社会人の先輩たちの話に耳を傾けながら、自分の将来の目標や職業に思いを馳せ、そのために今どんな基本的な能力や知識や教養を身につけるべきかを考えるキッカケにしてもらいたいと願っています。

また、こうした機会をもつことは、今大学で学んでいることの意味を知り、かけがえのない4年間の大学生活を充実させるためにもきわめて有益です。文系・理系の区別や職種を問わず、仕事をするうえでは共通の要素がありますし、どの分野であれ多様な職業について幅広い視野を得ることが必要ですが、そうしたこともこの授業から学びとってほしいと思います。

関連科目情報等：「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」を続けて受講することを薦める。

【授業の概要と計画】

★卒業生講師、☆専任教員（兼任）

- | | |
|--------|---|
| ①10/5 | 「授業への導入」
☆榎村 志郎 法学研究科教授 キャリアセンター長（主担当教員）
「計画と偶然が織りなすキャリア —生きがいの心と仕事—」
☆平野 光俊 経営学研究科教授 |
| ②10/12 | 「学生時代にやっておいてよかったと思えるあれこれ、のお話。」
★谷岡 久美 発達科学部人間行動表現学科 1997年卒 作曲・編曲家・ピアニスト |
| ③10/19 | 「イノベーションを起こそう —Foresight Creationの方法論と実践」
★松波 晴人 工学部環境計画学科 1990年卒、工学研究科修士課程 1992年修了
大阪ガス株式会社 行動観察研究所 所長 |
| ④10/26 | 「相手のニーズを考えて応える」
★上野 理恵 農学部農芸化学科 1986年卒 江崎グリコ株式会社 グリコお客様センター長 |
| ⑤11/2 | 「グローバル化の時代で成功の鍵は？ ～異文化理解とコミュニケーション」
★トラバリー ザキル 経営学部市場システム学科 1999年卒 トラバリートレーディング 代表 |
| ⑥11/9 | 「仕事はお役立ち」
★佐藤 栄哲 経営学部 1993年卒 (株)ミナジン / (株)ミナジンキャリア 代表取締役社長 |
| ⑦11/16 | 「変革の時代に～キャリアの原点はボランティア～」
★稲村 和美 法学研究科修士課程 1998年修了 尼崎市長 |
| ⑧11/30 | ふりかえり アウトプット・レポート（授業中記述） |

【成績評価方法と基準】

出席状況および授業最終日実施のアウトプット・レポートで総合的に判定します。欠席は1回につき5点減点、2回欠席で放棄扱いとなります。毎回授業中に書くコミュニケーションシートと授業最終日実施のアウトプット・レポート提出(提出がない者は単位認定の対象としない)により総合評価します。この授業では、情報や知識の吸収だけでなく、気づきと成長への意欲を重視します。その他詳細については授業中に指示します。

【履修上の注意】

遅刻、途中入場・途中退室、履修者の無断欠席、私語、居眠りは厳禁。授業中携帯の電源は切ること。貴重な時間を割いてこの講義のために準備し遠路来てくださる先輩たちに失礼に当たりますので、以上のマナーを守る自信のない人およびアルバイト、部活、就活等で欠席しがちな人は履修を遠慮してください。毎回、授業の最後に授業の感想、意見、気づき、質問等を必ず書いてもらいますので、授業中は絶えず多くを考えたり感じたりしながら、各講師のお話に耳を傾けてください。この授業は毎回講師が異なることから、履修者に準備学習を求めています。準備学習としては、各講師の勤務先企業等についてホームページや図書などであらかじめ調べておいてください。また、復習としては、授業で聞いた用語やキーワード、あるいは人物等について調べ、それらを自分の言葉で説明できるようにしてください。

なお、この授業は1年次配当科目ですが、2、3年生や就職活動を終えてこれから社会に出ていく4(5)年生にもぜひ履修または聴講してもらいたいと願っています。卒業後のキャリア形成や人生設計を考えるうえで大きなヒントが得られるでしょう。また、院生は履修できませんが、聴講は歓迎します。なお総合科目Ⅱは、学部によっては卒業要件単位に入っていない場合があるかもしれません。自学部の学生便覧で確認してください。この授業の関連科目は、第1Q開講の総合教養科目「企業社会論B」(木5限)、第2Q開講の総合教養科目「企業社会論A」(木5限)及び第4Q開講の総合教養科目「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」(木5限)です。

【オフィスアワーと研究室】

問い合わせや連絡は、樫村志郎まで。相談または予約はメールでお願いします。メールアドレスは [skashimu\[at\]kobe-u.ac.jp](mailto:skashimu[at]kobe-u.ac.jp) または、キャリアセンター(A棟1F東)まで。

【学生へのメッセージ】

「真摯・自由・協同」(神戸大学のモットー)を実践し、「人間性豊かな指導的人材」(「神戸大学の使命」)をめざそう！ 自立と社会的関心、そして自己の成長を求める意欲があれば、あなたの未来への歩みは確かなものになります。「自立」とは、他人から命じられて初めて学ぶのではなく、自ら課題を見出して自分の意志で学ぶことができ、何をすればよいか指示を待つのではなく、自分から何をすべきかを考え、目標をもつことができることも意味します。いわば「自律」と不可分の「自立」です。自律には、自分の頭で考える力とそれを自分の言葉で話す力が必要です。自分で判断し自分で行動する姿勢を養ってください。それは、リーダーシップの涵養ということもできます。そのためには沢山のことを学ばなければなりません。とくに演習やゼミで「自ら学ぶ力」を養ってください。そして、「社会的関心」の反対は、自分のことしか関心がないこと。自分の利益しか考えない人は視野と世界が狭くなります。ましてや今はグローバル化への認識が必須の時代です。

社会的関心と社会貢献のサービスの姿勢があれば、何より視野が広がり、自分の能力や知識を何のためにどう行かせばよいか有効に考え、仕事の意味を理解し、多様性を受けとめながら人的ネットワークを豊かに形成し、仕事にいつそうやりがいと喜びを覚えるようになります。そのために今はあらゆるものに知的好奇心を抱き、学ぶことを楽しみましょう。本を読み幅広く教養を身につけるとともに、ぜひ新聞を読んでください。

【テキスト】

適宜プリント配付(教室に放置しないでください。余分に取ったものは元の場所に返却すること。)

【参考図書】

講師の方々から、キャリアを考える上でのおすすめの本をお伺いしています。総合・国際文化学図書館の特設ブースに置いてありますので参考にしてください。

「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」

2017年度神戸大学全学キャリア科目（総合教養科目・副：総合科目Ⅱ）第4Q木曜5限
教室 鶴甲第1キャンパス K202

（申請コード 後期 4U117（副：4U884））

【授業のテーマと目標】

テーマ「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」（社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義）

若い皆さんは、世の中の職業や仕事について具体的に知っている人も殆どいませんし、他方、自分自身がいかにか大きな可能性にみちているかを理解している人もごく稀です。しかし、皆さんのもつその測り知れない可能性を生かすためには、将来に拓がる卒業後の多様な進路について思い巡らし、職業や仕事の具体的な姿とその仕事に就いている人々の経験と思いを知ることが大切です。

この授業では、様々な職業に就いている神戸大学の卒業生の方々から仕事の現場と遣り甲斐、さらに仕事への夢や志などを語っていただきます。皆さんはふだんの大学の授業では聞くことのできない社会人の先輩たちの話を傾けながら、自分の将来の目標や職業に思いを馳せ、そのために今どんな基本的な能力や知識や教養を身につけるべきかを考えるキッカケにしてもらいたいと願っています。

また、こうした機会をもつことは、今大学で学んでいることの意味を知り、かけがえのない4年間の大学生活を充実させるためにもきわめて有益です。文系・理系の区別や職種を問わず、仕事をするうえでは共通の要素がありますし、どの分野であれ多様な職業について幅広い視野を得ることが必要ですが、そうしたこともこの授業から学びとってほしいと思います。

関連科目情報等：「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」を予め受講しておくことを薦める。

【授業の概要と計画】

★卒業生講師、☆専任教員（兼任）

- | | |
|--------|--|
| ①12/7 | 「授業への導入」
☆榎村 志郎 法学研究科教授 キャリアセンター長（主担当教員）
☆田中 美恵 キャリアセンター 特命助教
「キャリアの考え方」
☆鈴木 竜太 経営学研究科教授 |
| ②12/14 | 「日本人から、地球人へ」
★木島 英登 発達科学部人間環境科学科 1997年卒 木島英登バリアフリー研究所 代表
NPO 法人 Japan Accessible Tourism Center 代表 |
| ③12/21 | 「未来の仕事を考えるワークショップ」
☆大村 直人 工学研究科未来社会創造道場 教授
☆鶴田 宏樹 工学研究科未来社会創造道場 准教授
☆祇園 景子 工学研究科未来社会創造道場 特命助教 |
| ④1/11 | 「アホになれ」
★日下 慶太 法学部 2001年卒 電通関西支社 コピーライター・写真家・セルフ祭顧問 |
| ⑤1/18 | 「地方公共団体の都市づくり・まちづくり そしてまち育て」
★正木 啓子 工学研究科土木工学専攻修士課程 1972年修了
元大阪府建築都市部理事、元大阪府道路公社理事長 |
| ⑥1/25 | 「伝えたい わが心の言葉」
★河内 鏡太郎 文学部 1966年卒 武庫川女子大学教授・図書館長 元読売新聞専務（大阪） |
| ⑦2/1 | 「グローバルな仕事と人生」
★拓海 広志 海洋・海事ライター、アルバトロス・クラブ代表
恵谷 洋 旧神戸商船大学 1987年卒(現海事科学部)、三井倉庫ロジスティクス株式会社 取締役執行役員 |
| ⑧2/8 | ふりかえり アウトプット・レポート（授業中記述） |

【成績評価方法と基準】

出席状況および授業最終日実施のアウトプット・レポートで総合的に判定します。欠席は1回につき5点減点、2回欠席で放棄扱いとなります。毎回授業中に書くコミュニケーションシートと授業最終日実施のアウトプット・レポート提出(提出がない者は単位認定の対象としない)により総合評価します。この授業では、情報や知識の吸収だけでなく、気づきと成長への意欲を重視します。その他詳細については授業中に指示します。

【履修上の注意】

遅刻、途中入場・途中退室、履修者の無断欠席、私語、居眠りは厳禁。授業中携帯の電源は切ること。貴重な時間を割いてこの講義のために準備し遠路来てくださる先輩たちに失礼に当たりますので、以上のマナーを守る自信のない人およびアルバイト、部活、就活等で欠席しがちな人は履修を遠慮してください。毎回、授業の最後に授業の感想、意見、気づき、質問等を必ず書いてもらいますので、授業中は絶えず多くを考えたり感じたりしながら、各講師のお話に耳を傾けてください。この授業は毎回講師が異なることから、履修者に準備学習を求めています。準備学習としては、各講師の勤務先企業等についてホームページや図書などであらかじめ調べておいてください。また、復習としては、授業で聴いた用語やキーワード、あるいは人物等について調べ、それらを自分の言葉で説明できるようにしてください。

なお、この授業は1年次配当科目ですが、2、3回生や就職活動を終えてこれから社会に出ていく4(5)回生にもぜひ履修または聴講してもらいたいと願っています。卒業後のキャリア形成や人生設計を考えるうえで大きなヒントが得られるでしょう。また、院生は履修できませんが、聴講は歓迎します。なお総合科目Ⅱは、学部によっては卒業要件単位に入っていない場合があるかもしれません。自学部の学生便覧で確認してください。この授業の関連科目は、第1Q開講の総合教養科目「企業社会論B」(木5限)、第2Q開講の総合教養科目「企業社会論A」(木5限)及び第3Q開講の総合教養科目「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」(木5限)です。

【オフィスアワーと研究室】

問い合わせや連絡は、榎村志郎まで。相談または予約はメールでお願いします。メールアドレスは skashimu[at]kobe-u.ac.jp または、キャリアセンター(A棟1F東)まで。

【学生へのメッセージ】

「真摯・自由・協同」(神戸大学のモットー)を実践し、「人間性豊かな指導的人材」(「神戸大学の使命」)をめざそう！ 自立と社会的関心、そして自己の成長を求める意欲があれば、あなたの未来への歩みは確かなものになります。「自立」とは、他人から命じられて初めて学ぶのではなく、自ら課題を見出して自分の意志で学ぶことができ、何をすればよいか指示を待つのではなく、自分から何をすべきかを考え、目標をもつことができることも意味します。いわば「自律」と不可分の「自立」です。自律には、自分の頭で考える力とそれを自分の言葉で話す力が必要です。自分で判断し自分で行動する姿勢を養ってください。それは、リーダーシップの涵養ということもできます。そのためには沢山のことを学ばなければなりません。とくに演習やゼミで「自ら学ぶ力」を養ってください。そして、「社会的関心」の反対は、自分のことしか関心がないこと。自分の利益しか考えない人は視野と世界が狭くなります。ましてや今はグローバル化への認識が必須の時代です。

社会的関心と社会貢献のサービスの姿勢があれば、何より視野が広がり、自分の能力や知識を何のためにどう行かせばよいか有効に考え、仕事の意味を理解し、多様性を受けとめながら人的ネットワークを豊かに形成し、仕事にいっそうやりがいと喜びを覚えるようになります。そのために今はあらゆるものに知的好奇心を抱き、学ぶことを楽しみましょう。本を読み幅広く教養を身につけるとともに、ぜひ新聞を読んでください。

【テキスト】

適宜プリント配付(教室に放置しないでください。余分に取ったものは元の場所に返却すること。)

【参考図書】

講師の方々から、キャリアを考える上でのおすすめの本をお伺いしています。総合・国際文化学図書館の特設ブースに置いてありますので参考にしてください。